

株主・投資家の皆様へ

第30期

# 株主通信

2021年1月1日から2021年12月31日まで



## Contents

株主の皆様へ	01
事業の概況	02
設立30周年について	03
特集	05
シークスグローバルネットワーク	07
2021年トピックス	09
株式の状況	10
役員の状況	10

シークス株式会社

証券コード 7613



代表取締役会長  
村井史郎

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに第30期株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。  
当期の経済環境を顧みますと、米国では、雇用環境や個人消費の改善により、景気は底堅く推移しました。欧州では、ワクチン接種の進展により行動制限が緩和され、着実な景気回復が続きました。アジアにおいて、中国では、個人消費や輸出の改善により、景気は堅調に推移しました。その他のアジア各国では、長期間に及んだ行動規制が緩和され、景気を持ち直し傾向が見られます。日本では、緊急事態宣言が長期化したものの、宣言解除にともない緩やかに景気は回復しています。ワクチンの普及により新型コロナウイルス感染症が経済へ与える影響は軽減されていますが、引き続き変異株の流行等に留意が必要な状況にあります。

このような経済環境のもと、当社は車載分野を中心にお客様のニーズを確実に捉え、ビジネスを獲得してまいりましたが、半導体を中心とした電子部品の供給不足や輸送コストの高騰による事業活動への影響を少なからず受けました。また、この状況が想定以上に長期化したことにより、当期の業績につきましては、連結売上高は2,268億円、連結営業利益は49億円となりました。前年に比べ増収増益ではあるものの、利益面では当初計画を下回る結果となり、株主の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。

2022年度も不透明感が続く環境下ではありますが、当社事業の主力である車載関連機器の市場は世界の自動車需要の回復を背景に堅調に推移すると見込まれます。車載分野では電装化や自動化などのいわゆるCASE等の開発が進められており、EMS(電子機器受託製造サービス)のニーズがますます高まる中、非日系の大手グローバル顧客との取引が拡大しております。このような需要の高まりに対して、昨年9月にインドネシア・カラワン工場で第2棟が新たに完成しましたが、今後はメキシコやタイの製造拠点においても、工場拡張を予定しており、当社のグローバルな生産体制の拡充と高品質なサービスでお応えしてまいります。また、産業機器等他の分野においてはIoT、DXなど大きな技術革新が起こる中、当社においても出身母体であるサカタインクス(株)等との協業により革新的な基板実装技術の開発を進めており、新たなビジネスを展開していきたいと考えております。また、脱炭素社会の実現に向けて貢献するため、事業活動による直接的な関与のみならず、当社各拠点における再生可能エネルギーの活用や省エネ活動を推進し、社会課題にも取り組んでまいります。

当社は2022年7月に設立30周年を迎えます。株主の皆様をはじめ、全てのステークホルダーの方々のご支援のもと、事業活動を継続することができました。今後も皆様との信頼関係を大切にしながら、より良い成果が出る1年とするべく邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年3月

第30期 2021年12月

売上高	2,268億3千3百万円	前期比	24.9%増
営業利益	49億5千4百万円	前期比	11.3%増
経常利益	59億3千4百万円	前期比	33.5%増
親会社株主に帰属する当期純利益	45億6千1百万円	前期比	164.6%増
1株当たり当期純利益	96円53銭	前期比	164.6%増

品種別の状況

当社が取り扱う電子部品・基板実装品の最終製品を用途別にご紹介いたします。

車載関連機器 127,317百万円 56.1%

車載電装品(車載エクステリア、メーター、ECU、スイッチ、準ミリ波レーダー、ABS、カメラ、バッテリーセンサー他)、カーマルチメディア



産業機器 41,850百万円 18.5%

パワーツール用エンジン点火装置、バッテリーパック、航空機内電子機器、インバーター、医療機器、スマートメーター、工業用ミシン 他



その他 14,320百万円 6.3%

自動車用ワイヤーハーネス、オートバイ、その他電子部品 他

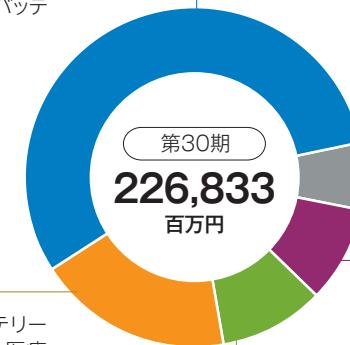
情報機器 20,565百万円 9.1%

事務機器、OA機器、プロジェクター 他



家電機器 22,782百万円 10.0%

デジタル家電、エアコン、冷蔵庫、知育玩具、健康器具、電子楽器 他

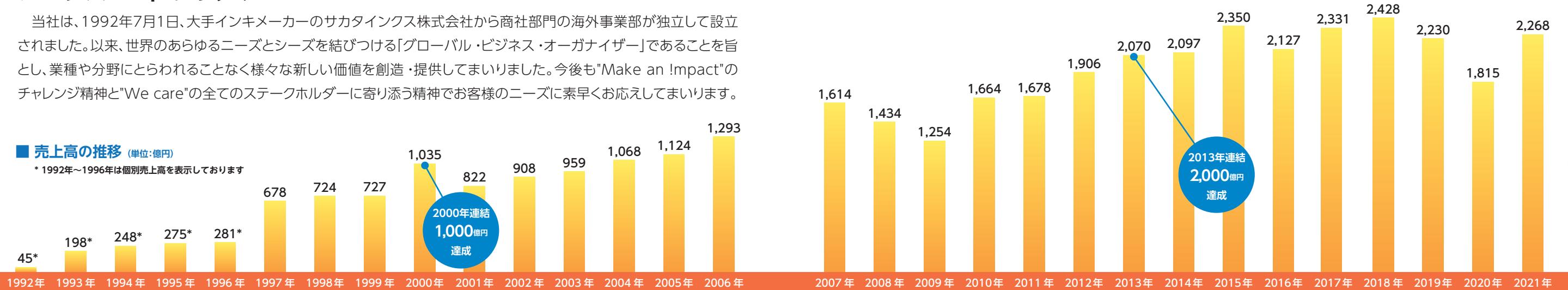


## シークス30年のあゆみ

当社は、1992年7月1日、大手インキメーカーのサカティンクス株式会社から商社部門の海外事業部が独立して設立されました。以来、世界のあらゆるニーズとシーズを結びつける「グローバル・ビジネス・オーガナイザー」であることを旨とし、業種や分野にとらわれることなく様々な新しい価値を創造・提供してまいりました。今後も"Make an Impact"のチャレンジ精神と"We care"の全てのステークホルダーに寄り添う精神でお客様のニーズに素早くお応えしてまいります。

### ■ 売上高の推移 (単位:億円)

\* 1992年～1996年は個別売上高を表示しております



### 1992年

- サカティンクスから分社独立、サカティンクスインターナショナル設立



### 1998年

- 「シークス株式会社」に社名変更

### 1999年

- インドネシア / バタム島に製造子会社を設立
- 大阪証券取引所市場第二部に上場

### 2000年

- 東京証券取引所市場第二部に上場
- タイの製造子会社を100%子会社化

### 2001年

- スロバキアに製造子会社を設立

### 2002年

- 中国 / 東莞に製造子会社を設立

### 2004年

- 1:2の割合で普通株式を分割

### 2005年

- 東証・大証第一部に指定

### 2007年

- 1:2の割合で普通株式を分割

### 2010年

- 神奈川県相模原市に製造子会社を設立
- インドネシア / カラワンに製造子会社を設立

### 2012年

- 中国 / 上海に製造子会社を設立



### 2013年

- フィリピンに製造子会社を設立
- メキシコに製造子会社を設立



### 2014年

- フィリピンに製造子会社（プラスチック成形・金型製造）を設立
- 名古屋営業部を開設

### 2016年

- ハンガリーに製造子会社を設立

### 2017年

- 中国 / 湖北に製造子会社を設立

### 2018年

- 1:2の割合で普通株式を分割

代表取締役会長  
村井史郎代表取締役社長  
柳瀬晃治

## 特集

設立30周年を迎えますが、守りに入ることなく、より一層の成長へ向けて果敢に挑戦をし続けます。

株主の皆様には日頃より多大なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2021年度の業績、中期経営計画の進捗状況、2022年度の見通しについてご説明いたします。

### コロナ禍をはじめ様々な逆風下でも業績回復、そして再び成長軌道へ

2021年度は、長引くコロナ禍やコンテナ不足などを背景に世界規模で物流機能が混乱し、当社においても、サプライチェーンが支障をきたしたことから、部品、部材の安定調達が難しい状況が続きました。特に、エレクトロニクス業界においては深刻な半導体不足に陥り、電装化、さらにEV化が進む自動車業界においても、自動車用の半導体が調達できないことを理由に、自動車メーカーの生産ラインが止まるという従来ではあり得なかった事態が起きました。加えて、原材料や人件費の高騰、船便や航空便をはじめとする輸送費など物流コストが大幅に上昇したことから、売上総利益ベースは堅調に推移したものの、販売管理費の増大により営業利益を大きく損なうこととなりました。

その結果、2021年度の業績は、前期比で増収増益を果たしたものの、外部環境に起因するマイナス要因が大きく影響し、予算未達となりました。一方で、当社のサプライチェーンにおいても課題があったことを真摯に受けとめ、今後は安定調達に向けた取り組みを強化していく考えです。

地域別の業績では、いずれも需要が旺盛で、業績の底上げに寄与するものとなりました。特にASEANにおいては9月にインドネシアのカラワン工場において第2棟が竣工いたしました。以降、生産ラインをフル稼働させており、今期も売上は順調に増える予定です。また、タイの工場では、車載関係の受注が伸びていることから、工場の増床を通じて生産ラインを現状の2倍の規模に拡大する予定です。米州に関しましては、メキシコの工場が好調に推移しています。昨年11月に現地を視察し、現状のスペースでは今後の受注増に対応できないと判断し、新たに同工業団地内の用地を取得しました。2024年度中には稼働できるように準備を進める計画です。

製品分野別では、これまでの説明通り、注力してきました車載関連が大きく伸び、収益に貢献しております。中でも、自動車のライトを中心とした車載エクステリアが順調です。背景として、LEDライトがハイエンドに加えて、ミドルエンド、ローエンドの車種でも採用されてきたことが挙げられます。また、LEDライトの取り付けには高精度の実装技術が求められる中、当社の実装技術や現場の対応力を評価いただき、お陰様で多くの受注をいただいております。このような良い流れ、勢いを2022年度も維持し、拡大してまいります。

### 中期経営計画(2021-2023)の進捗状況について

#### 主要な目標に向けた取り組みを踏まえて最終年度の業績目標の達成に自信

中期経営計画の進捗状況について申し上げますと、第一の目標であります「大手グローバル企業との取引拡大」につきましては、非日系顧客との取引拡大が着実に進んでおり、売上が計画に対し順調に伸びている状況です。また、「テクノロジーパートナーとのアライアンス強化」に関して、シンガポール政府技術庁向けのIoT機器の開発、製造が順調に進み、こちらも今後のビジネスの拡大を期待しております。

なお、「医療機器分野」の開拓に関しましては、取り組みは進んでいるものの、業績に大きく寄与するまでには至っておりません。しかし、車載関連の開拓に10年、20年の時間がかかったのと同様に、今後大きな市場である医療機器分野についても長期的な展望のもとで市場を開拓し、いずれは事業の柱の一つに育てていきます。

こうした現状から、中期経営計画の業績目標は達成できるものと自信を持っています。

#### ビジネスでの脱炭素社会への貢献

自動車のEV化や様々な製品の電子化に伴い、基板実装のニーズが増えております。その中でも、エアコンのインバータをはじめ当社が製造を受託している製品の多くが脱炭素社会の実現に向けて用いられています。今後も二次バッテリーなど脱炭素に貢献できる分野をさらに拡大してまいります。

### 2022年度の見通しについて

#### 計画の着実な実行を通じて売上高、利益ともに確保をめざします

2022年度の業績見通しについて、世界を見渡しますと、コロナ禍の収束には依然不安が残るのに加えて、物流機能の混乱、物価の高騰、東欧での地政学的リスクなど企業活動を取り巻くマイナス要因が重なり、2022年も予測の難しい一年であると覚悟しています。

このように、厳しい外部環境が続いておりますが、2021年度の第4四半期には売上高630億円を達成しており、今後も、好調なASEANを筆頭に中国、米州、欧州のいずれにおいても事業の拡大を見込んでいます。2022年度も四半期ごとにこのペースで推移していくことができれば、計画しております2,400億円の売上高は達成できるとみています。また、利益面におきましても、製造原価や調達コストの低減に努めることでしっかり確保していく考えです。

2022年、当社は設立して30周年を迎えます。これまで何事にもスタートダッシュを心がけて、事業を展開してまいりました。今後も守りに入ることなく、これまで以上のスピードで成長し、さらなる発展をご期待いただける企業を目指します。株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



タイ工場新棟建設(イメージ)

幅広い海外拠点網の有機的なネットワークを通じて、お客様に様々なアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みの一つです。

部材調達から、製造、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界14カ国に約50ヶ所設置しております。(2021年12月末現在)



- ⑨ SIIX Europe GmbH ●
- ⑩ SIIX EMS Slovakia s.r.o. ▲●
- ⑪ SIIX Hungary kft. ▲●



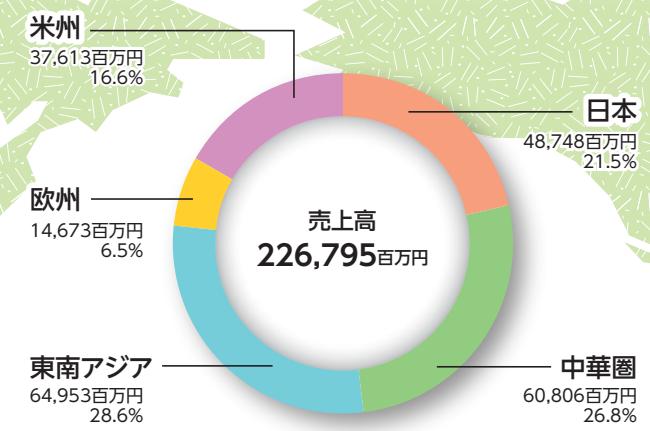
- ⑫ SIIX (Shanghai) Co., Ltd. ●
- ⑬ SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. ▲
- ⑭ SIIX HUBEI Co., Ltd. ▲
- ⑮ SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. ▲
- ⑯ SIIX (Dongguan) Co., Ltd. ●★
- ⑰ SIIX H.K. Ltd. ●
- ⑱ SIIX TWN Co., Ltd. ●



- ⑲ Thai SIIX Co., Ltd. ●▲
- ⑳ SIIX Vietnam Company Limited ●★
- ㉑ SIIX Malaysia Sdn. Bhd. ●★
- ㉒ SIIX Phils., Inc. ●
- ㉓ SIIX Logistics Phils, Inc. ●
- ㉔ SIIX EMS PHILIPPINES, INC. ▲
- ㉕ SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. ▼
- ㉖ SIIX Singapore Pte. Ltd. ●
- ㉗ PT SIIX Electronics Indonesia ▲▼
- ㉘ PT. SIIX EMS INDONESIA ▲
- ㉙ PT. SIIX Trading Indonesia ●

※㉔は2022年7月に㉓と㉕を吸収合併予定

## セグメント別売上高構成比



※連結売上高226,833百万円には、上記の他、報告セグメントに属さない37百万円が含まれております。



- ① シークス株式会社 ●
- ② シークスエレクトロニクス株式会社 ▲



- ③ SIIX U.S.A. Corp. ●
- ④ SIIX U.S.A. Corp. Detroit Branch ◆
- ⑤ SIIX U.S.A. Corp. Irvine Branch ◆
- ⑥ SIIX MEXICO, S.A DE C.V. ●★
- ⑦ SIIX EMS MEXICO, S. de R.L de C.V. ▲●
- ⑧ SIIX do Brasil Ltda. ●★

## 主な事業内容

- 電子部品等の販売・物流 ●
  - 電子部品等の販売 ●
  - 各種基板実装および機器・部品の組立・加工 ▲
  - プラスチック成形および金型製造 ▼
  - 支社・駐在員事務所 ◆
- ※★は非連結子会社

シークスグローバルネットワーク

シークスグローバルネットワーク

## 様々な展示会での事業PR

積極的に展示会に出展し、多くのご来場者様に当社の事業内容をご紹介しました。医療機器の製造・開発に関する展示会「Medtec Japan 2021」では、大手医療機器メーカーを含む多くのお客様にご来場いただき、テクノロジーパートナーとの協業により医療・介護分野でご支援できる技術や生産体制をPRいたしました。「JPCA Show 2021」、「第31回ファインテックジャパン」では、(株)ワンダーフューチャーコーポレーション(WFC)、サカタインクス(株)と共同出展し、「3社コラボレーションで実現する『IH-EMS』で基板実装の世界にパラダイムシフトを起こす」を展示コンセプトのもと、WFCのIHリフロー技術、サカタインクス(株)の印刷・配線材料、当社のEMS事業のコラボレーションによる新たな技術をご紹介いたしました。

## バッテリーマネジメントビジネス拡大に向けた合併会社設立

当社のシンガポール子会社は、エネルギー貯蔵ソリューションプロバイダーのOrient Technology社と合併で、SIIX-ORIENT TECHNOLOGY PTE. LTD.を設立いたしました。バッテリーパックの設計・開発・製造技術のノウハウを当社で構築することにより、EVや医療機器、産業機器など様々な分野でバッテリーに関するビジネスの拡大に取り組んでまいります。

## プライム市場への選択申請

当社は、株式会社東京証券取引所より新市場区分の上場維持基準に適合している旨確認を受けており、「プライム市場」への選択申請を行った結果、2022年4月にプライム市場へ上場することが決定しました。引き続き、持続的な成長と、中長期的な企業価値の向上のために尽力してまいります。

## インドネシア・カラワン工場第2棟竣工

インドネシアのジャカルタ郊外に位置するカラワンの製造子会社にて第2棟が竣工いたしました。今後拡大が期待される車載関連分野を中心とした旺盛な需要に対応し、事業の成長に注力してまいります。

## Webサイトをリニューアルオープン

当社のコーポレートサイトと採用サイトをリニューアルいたしました。写真やイラストを効果的に活用するほか、「工場動画」や「創業者ヒストリー」、「3分でわかるシークス」など社外の方に当社をより理解していただくためのコンテンツも新たに掲載いたしました。採用サイトについても、当社の業務理解推進のために各部署の相関図や社員インタビュー、座談会の様子などを掲載しております。今後もホームページを通じて当社の活動を積極的にPRしてまいります。

### 株式・株主の状況

2021年12月31日現在

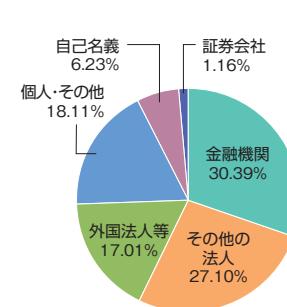
発行可能株式総数 ..... 160,000,000株  
発行済株式総数 ..... 50,400,000株  
当期末株主数 ..... 22,642名

#### 【大株主】

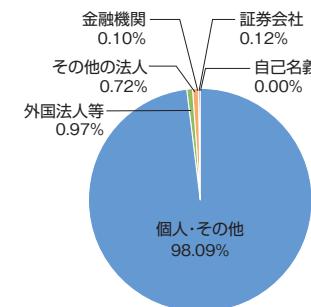
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
サカタインクス株式会社	10,812,000	21.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,172,300	12.25
有限会社フォーティ・シックス	2,200,000	4.37
株式会社りそな銀行	2,170,800	4.31
株式会社三井住友銀行	2,160,000	4.29
村井 史郎	1,400,000	2.78
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,138,600	2.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	1,042,500	2.07
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	987,900	1.96
株式会社三菱UFJ銀行	720,000	1.43

※上記のほか当社所有の自己株式3,137,933株(6.23%)があります。

【所有者別所有株式数】



【所有者別株主数】



(2021年12月31日現在)

代表取締役会長	村井 史郎	
代表取締役社長	柳瀬 晃治	
取締役	大野 精二	経理部長
取締役	丸山 徹	総務部長 兼 東京総務部長
取締役	藤田 達雄	グループ技術統括担当 兼 シークスエレクトロニクス株式会社担当
取締役	高谷 晋介	北辰税理士法人 代表社員 フジ住宅株式会社 社外監査役
取締役	大森 進	UBS証券株式会社 常勤監査役
取締役	吉澤 尚	GRIT Partners法律事務所 所長 Willsame株式会社 代表取締役
監査役(常勤)	友田 雅之	
監査役	新田 泰生	新田会計事務所 所長
監査役	手島 泉	サカタインクス株式会社 常勤監査役
執行役員	外山 正一	シンガポール地域担当 兼 SIIX Singapore Pte. Ltd. マネージングディレクター
執行役員	松下 宇一郎	東京営業部長 兼 名古屋営業部担当
執行役員	吉田 明生	大阪営業部長
執行役員	村上 正樹	営業企画担当
執行役員	浦谷 行信	タイ・ベトナム・マレーシア地域担当 Thai SIIX Co., Ltd. マネージングディレクター 兼 SIIX VIETNAM COMPANY LIMITED担当 兼 SIIX Malaysia Sdn. Bhd. 担当
執行役員	平岡 和也	香港・中国華南・華中地域担当 兼 SIIX H.K. Ltd. マネージングディレクター 兼 SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. 董事長 兼 総経理 兼 SIIX HUBEI Co., Ltd. 董事長 兼 総経理 兼 美的PJ担当
執行役員	岩武 孝明	北米・中南米地域担当 兼 SIIX U.S.A. Corp. マネージングディレクター 兼 SIIX EMS MEXICO, S. de R.L. de C.V.担当
執行役員	高木 浩昭	SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. 董事長 兼 総経理 兼 特命事項担当
執行役員	佐治 宏哲	中国華東・華北地域担当 兼 SIIX (Shanghai) Co., Ltd. マネージングディレクター 兼 台湾担当
執行役員	井口 富紀子	秘書室長 兼 CSR担当
執行役員	河西 正則	インドネシア・フィリピン地域担当 兼 PT.SIIX Trading Indonesia プレジデントディレクター 兼 PT.SIIX EMS INDONESIA 担当 兼 PT.SIIX Electronics Indonesia 担当 兼 SIIX Logistics Phils, Inc. 担当 兼 SIIX EMS PHILIPPINES, INC. 担当 兼 SIIX Phils., Inc 担当 兼 SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. 担当
執行役員	吉岡 照仁	欧州地域担当 兼 SIIX Europe GmbH マネージングディレクター 兼 SIIX Hungary Kft. 担当 兼 SIIX EMS Slovakia s.r.o. 担当
執行役員	松岡 誠司	資材統括部長
執行役員	小出 裕一	情報システム部長
執行役員	福井かおる	監査室長

※取締役のうち、高谷晋介氏、大森進氏、吉澤尚氏は、社外取締役です。  
※監査役のうち、新田泰生氏、手島泉氏は、社外監査役です。

## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月  
基準日 定時株主総会 毎年12月31日  
期末配当金 毎年12月31日  
中間配当金 毎年6月30日  
そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>  
(ホームページURL)

公告方法 当社のホームページに掲載します。  
<https://www.siix.co.jp/ir/notice/>

単元株式数 100株

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

証券コード 7613

[株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について]

### 証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社宛にご照会お願いいたします。

### 証券会社に口座を開設されていない株主様

株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しております。  
上記の電話照会先にご照会お願いいたします。

## IRメール配信のご案内

当社では投資家の皆様に対してe-MailによるIR情報配信サービスを行っております。ご登録いただいた方々に当社のWebサイト(<https://www.siix.co.jp/>)に新たな情報が掲載されたことをご知らせいたします。ご希望の方は、当社のWebサイトIR関連サービスのページ([https://www.siix.co.jp/ir/ir\\_mail/](https://www.siix.co.jp/ir/ir_mail/))から、簡単にご登録(無料)いただけます。



この冊子は植物油インキを使用しております。

## 会社概要

(2021年12月31日現在)

商号 シークス株式会社  
設立 1992年7月1日  
資本金 2,144百万円  
従業員数 個別 215名  
連結 12,354名  
拠点 大阪本社、東京本社、名古屋営業部  
証券コード 7613  
URL <https://www.siix.co.jp/>

## 株主優待

### ギフトカード

■対象:毎年12月末日の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上の当社株式を保有の株主様

内容(お一人あたり)	
10単元(1,000株)以上	3,000円分のギフトカード
5単元(500株)以上10単元未満	2,000円分のギフトカード
1単元(100株)以上5単元未満	1,000円分のギフトカード

※1 カード会社発行のギフトカードを贈呈いたします。

※2 毎年3月の定時株主総会後にお送りいたします。

### 海外工場視察旅行

■対象:1単元以上の当社株式を1年以上連続保有の株主様

※[1年以上連続保有の株主様]とは、毎年12月末日の当社株主名簿に、前期末ならびに当該年度6月末と同一株主番号にて、連続して記載された株主様とします。

■内容:当社のビジネスモデルに対する理解を深めていただくことを主眼に、当社海外工場の視察を含む旅行に、上記の長期保有の株主様の中から抽選で10名様をご招待いたします。(毎年1回)

## 配当推移

	第28期 2019年12月	第29期 2020年12月	第30期 2021年12月
配当金(円)	28	29	30
配当性向(%)	35.8	79.5	31.1